

# 子ども子育て支援に関するニーズ調査

市では、2020年度から2024年度を計画期間とする「第2期うきは市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、市民の皆さんの子育ての状況やニーズを把握するためのアンケート調査を実施しています。本市における子育て支援施策充実のための大切な調査となりますので、ご協力をお願いします。



## ◇調査対象者

就学前児童の保護者・世帯 1,033 世帯  
小学生の保護者・世帯 726 世帯

## ◇調査方法

0歳から小学6年生のお子さん（平成30年12月1日に本市に住民票があるお子さま）から選ばせていただいた世帯へ調査票を2月8日頃に郵送しています。

## ◇提出締切り

2月28日（木）までに同封している返信用封筒で郵送してください。

※調査結果がまとまり次第、順次公表していきます。

## ●問合せ

福祉事務所 子育て支援係 Tel.75-4961



## 知ってなるほど 男女共同参画

～ 一人ひとりがいきいきと輝き 自分らしく暮らせるまち うきは ～



### なぜ必要？男女共同参画の視点

平成23年3月に発生した東日本大震災以降、防災において「男女共同参画の視点」が注目されています。震災後の避難所づくりに女性の意見が反映されず、女性用の物資の配布や授乳スペースの確保などに関して困難を抱える女性が多く見受けられました。その原因として、避難所運営をはじめとするさまざまな意思決定の場に女性が少なかったことが挙げられており、災害時の意思決定に女性が多く参画できるように平常時から男女共同参画が求められています。

### 「もしも」に「いつも」備える防災

高齢者・障がいがある人・妊産婦・乳幼児・病気を抱えている人・外国人、介護や看護に携わる人など、さまざまな立場の人が暮らす地域で災害が起きたら、私たちはどのような行動をとればいいのか。緊急時における避難場所を事前に確認しておくことや非常用持ち出し袋の準備、災害時にはご近所同士で声かけできるよう日頃からのコミュニケーションも大切です。災害は止められませんが、備えることで減災はできます。



### 性別にこだわらない意識改革を！

災害で避難所の責任者（自治会長など）に女性が少ないため、「女性の要望や意見が重視されない」「女性用物資が不足していても要望しにくい」などの問題も指摘されています。災害の復旧・復興時には男女がともに支え合うことができるよう日頃から家庭や地域・職場での男女共同参画を心がけましょう。

## ●問合せ

男女共同参画推進室 Tel.75-4980